

# 反転耕ほ場におけるバレイシヨの実証栽培

## <研究目的>

反転耕ほ場の土壌中放射性セシウムの垂直分布確認  
と放射性セシウム吸収抑制対策の実証

## <実施場所>

南相馬市原町区

福島県農業総合センター  
生産環境部福島市駐在

Fukushima Agricultural Technology Centre  
福島県農業総合センター



## 反転耕後のほ場

- 実証内容 ①反転耕後の土壌中放射性セシウム濃度低下の確認  
②バレイシヨの放射性セシウム濃度(10Bq/kg未満)
- 導入技術 ①土壌中の放射性セシウムの垂直分布(層別調査)  
②放射性セシウム吸収抑制対策(土壌中カリ含量40mg/100g以上)

バレイシヨ

## 土壌改良及び施肥

反転耕後の土壌分析値

	pH	EC	CEC	交換性			可給態
	[H <sub>2</sub> O]	[mSi/cm]	[me/100g]	石灰	苦土	加里	リン酸
	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]
栽培前	6.4	0.1	11.8	328	20	73	26



土壌改良及び施肥

使用目的	資材名	施用量	窒素	リン酸	加里	苦土	アルカリ分
土壌改良	硫酸苦土	全層施肥	20			20	
	過リン酸石灰	全層施肥	80	16			20
施肥	発酵鶏糞	全層施肥	150	6	8	5	
	馬鈴薯配合	側条施肥	150	15	18	24	
計			21	42	29	20	20

反転耕後に土壌改良、慣行施肥を行い栽培を開始しました。

## 生育の様子

バレイシヨ



植付け:4月8日



生育初期:5月28日



開花期:6月19日

## 収穫時の様子

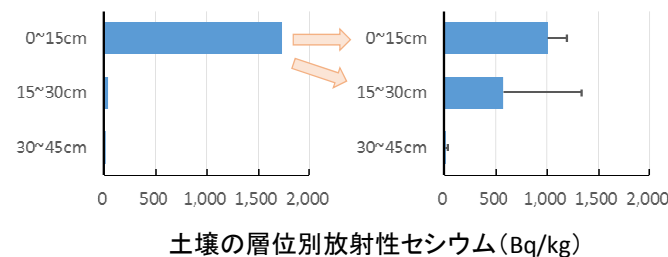


収穫：7月28日

5

## 反転耕後の土壌の層別別調査

反転耕により、0~15cm層の放射性セシウム濃度が低下しました。



## 収量と放射性セシウム濃度

収量は、概ね目標収量を達成しました。  
放射性セシウム濃度は、食品の基準値を大幅に下回りました。

収量	[t/10a]
収量	
バレイショ	2.4
放射性セシウム濃度	[Bq/kg 生重]
放射性セシウム濃度 ( <sup>134</sup> Cs+ <sup>137</sup> Cs)	
バレイショ	1.2

H26.7.28に減衰補正しました。



## バレイショ生産部会の取組支援

バレイショ生産部会の代表ほ場で、放射性セシウム濃度等の土壌調査を行いました。



歩行モニタリング調査

## 野生鳥獣害対策



電気柵(イノシシ対策の場合)  
電線の高さ:20cm,40cm,二段  
電圧 :5kV以上

10a当たり価格:ソーラー型約10万円  
設置時間 :約2時間/10a



イノシシによると思われる被害がありました。  
電気柵設置後は、被害ありませんでした。

9

## 導入した実証技術の評価

① 土壤中の放射性セシウムの層別調査  
反転耕により、0~15cm層の放射性セシウム濃度が低下しました。

② 放射性セシウム吸収抑制対策(土壤中カリ含量40mg/100g以上)  
バレイショの放射性セシウム濃度は、食品の基準値(100Bq/kg)を大幅に下回りました。

